

会の趣旨

これからの算数・数学教育を考える会は、全国の方々と、算数・数学教育のあり方について議論・交流する会です。

日頃の学校現場での算数・数学の授業実践を持ち寄り、指導の改善につなげたり、新しい教育内容・方法の考案・検証を行っていくことを目的としています。

算数・数学教育に関心のある先生、教員を目指す学生・高校生、一般の方々のご参加をお待ちしています。

日時

2023年 2月 18日 (土)

14:00 ~ 15:00 事例発表

15:00 ~ 15:30 教育最新事情

プログラム Zoomによるオンライン開催(参加費無料)

14:00~14:30 事例発表1

児童の「認識の飛躍」をめざす授業デザインをつくる
～表現力(書く力)の育成とICT(タブレットパソコン)
活用を通して～

大地 健文(兵庫県丹波市立小学校 教諭)

14:30~15:00 事例発表2

中学校数学授業におけるロイロノートの活用事例
横井 歩(京都市立神川中学校 教諭)

15:00~15:30 教育最新事情

ノートに書くべきこと vs. コンピュータにかくべきこと
黒田 恭史(京都教育大学教育学部数学科 教授)

対象 小・中・高等学校教員、学生、一般 定員100名

申込先

URL(QRコード)にアクセスして
お申し込みください。申込締切:2月9日

<https://forms.gle/uEWDhSFQrtVbiJUP9>



問い合わせ

黒田恭史(京都教育大学)
ykuroda@kyokyo-u.ac.jp

※参加申し込みができない場合は、上記の問い合わせ先までご連絡ください。

※2月10日(金)頃に参加方法の案内をメールで連絡します。

第17回

「これからの算数・数学教育を考える会」